

## 新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日2月26日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、3月5日（火曜日）からです。

### 『日本人の「男らしさ」』

サビーネ・フリューシュトゥックほか／著、明石書店／刊、請求記号：367.5 / F,49

内容：日本人の男らしさの体現とはかつて何を意味したのか。今日では何を意味するのか。侍、商人、軍人、自衛隊員、労働組合員、ホームレス、オタク、ロボット…。外国人研究者たちが日本人の「男性性」に取り組んだ論集。

著者紹介：カリフォルニア大学サンタバーバラ校(近現代日本研究)教授。著書に「不安な兵士たち」など。

### 『江戸の献立』

福田 浩／著、新潮社／刊、請求記号：383.8 / F,74

内容：水戸黄門の宴会料理、作家・馬琴の昼餐など、史実に残る江戸の献立12組を料理店「なべ家」主人が正確に再現。当時の食卓についての鼎談、エッセイなども収録する。レシピ付き。『小説新潮』連載に書下ろしを加え書籍化。

著者紹介：1935年東京生まれ。料理家。大塚「なべ家」主人。古い料理書研究や江戸時代料理の再現に力を注ぐ。

### 『残すべき建築』

松隈 洋／著、誠文堂新光社／刊、請求記号：523/ Ma,78

内容：歌舞伎座、同潤会上野下アパート、京都会館…。建築家たちが求めた暮らしのかたちを見つめなおすために、モダニズム建築を訪ね歩き、写真を交えて紹介する。『建築ジャーナル』連載に加筆して書籍化。

著者紹介：1957年兵庫県生まれ。京都大学工学部建築学科卒業。前川國男建築設計事務所を経て、京都工芸繊維大学教授。DOCOMOMO Japan副代表。著書に「近代建築を記憶する」など。

### 『闘う葡萄酒』

上野 敏彦／著、平凡社／刊、請求記号：588.5/ U,45

内容：宮崎市から北へ40キロにある、宮崎県児湯郡都農町。日本南限といわれる地のワイナリーで、先達が築いた65年の葡萄栽培の志を継いでワイン造りに乗り出した2人の若き醸造家の16年間を追う。

著者紹介：1955年神奈川県生まれ。横浜国立大学経済学部卒業。記録作家、ジャーナリスト。共同通信社編集委員兼論説委員。著書に「闘う純米酒」「千年を耕す椎葉焼き畑村紀行」など。

### 『「走る」ための食べ方』

村野 あずさ／著、実務教育出版／刊、請求記号：782.3/ Mu,53

内容：楽しく走るための栄養バイブル。スポーツライフを「食」で応援する、元実業団ランナーの著者が、これまでの経験を踏まえ、ランニングの世界で必要だと思う栄養情報を紹介する。

著者紹介：株式会社明治ザバススポーツ&ニュートリション・ラボで管理栄養士として活動。

陸上競技、プロ野球、ビーチバレーなど、多数の競技のトップアスリートの栄養サポートを担当。

---